

一二四二番

あしひきの 山行き暮らし 宿借らば 妹立ち待
ちて 宿貸さむかも

一二四三番

見渡せば 近き里廻を たもとほり 今そ我が来
る 領巾振りし野に

一二四四番

娘子らが 放りの髪を 木綿の山 雲なたなびき
家のあたり見む

一二四五番

志賀の海人の 釣舟の網 堪へかてに 心思ひ
て 出でて来にけり